



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 積水工機製作所
 コード番号 6487 URL <http://www.sekisuishouki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢澤 征一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 湯川 浩次 (TEL) 072(858)1121
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,284	48.7	△221	—	△222	—	△995	—
23年3月期第2四半期	2,209	△29.3	△255	—	△233	—	△285	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △996百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △288百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第2四半期	円 銭 △107.36	円 銭 —
23年3月期第2四半期	円 銭 △30.72	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第2四半期	百万円 6,279	百万円 2,245	% 35.8
23年3月期	百万円 7,791	百万円 3,242	% 41.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,245百万円 23年3月期 3,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
24年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	9.9	△170	—	△180	—	△980	—	△105.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	9,350,000株	23年3月期	9,350,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	72,977株	23年3月期	72,677株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期2Q	9,277,194株	23年3月期2Q	9,277,918株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 受注の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、今年3月に発生した東日本大震災の影響で、主要顧客である自動車メーカー各社の部品供給網が打撃を受けましたが、生産体制の復旧に伴い、新車開発需要は回復傾向にあります。しかしながら、自動車メーカー各社の海外生産拠点の拡充、現地部品調達の加速、急激な円高等の影響で国内の金型需要の回復は極めて厳しい状況になってまいりました。このような経営環境の中、当社は国内金型市場の供給過剰状態に対処するため、今年9月末にて関東地区生産拠点である結城工場の操業停止を決断し、経営資源を本社工場に集約し、経営のスリム化と効率化を図ることにいたしました。当第2四半期連結累計期間の受注は、厳しい価格競争の続く中、セキスイブランド戦略と高付加価値戦略等の独自の提案営業の推進により、前年同期を上回る実績となりました。また、グローバル化戦略として、中国とブラジル、オーストリア、ハンガリーの現地金型会社と新たに相互協力契約を締結し、メンテナンス拠点は19ヶ国36拠点に拡充しました。金型部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,374百万円（前年同期比32.8%増）となりましたが、厳しい販売価格を反映して、営業損失は154百万円（前年同期は216百万円の損失）となりました。

産業機器部門の状況につきましては、高機能フィルム・シート押出機関連設備の引合いは徐々に増加してまいりましたが、受注競争は厳しさを増しており、当第2四半期連結累計期間の受注は、前年同期を下回る実績となりました。このような状況の中、引き続き押出機業界トップ3を目指して、重要顧客へのソリューション営業を展開するとともに、光学用フィルム、電池用シート成形技術に加え、炭素繊維紡糸成形技術やバイオプラスチックの開発など成長市場への技術開発を推進してまいりました。この結果、産業機器部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は910百万円（前年同期比115.6%増）となりましたが、販売価格の低下などにより、営業損失は66百万円（前年同期は39百万円の損失）となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,284百万円（前年同期比48.7%増）、営業損失221百万円（前年同期は255百万円の損失）、経常損失222百万円（前年同期は233百万円の損失）となり、四半期純損益は結城工場の操業停止に伴う固定資産の減損損失462百万円、従業員の退職特別加算金183百万円などの特別損失及び法人税等調整額109百万円などを加え995百万円の損失（前年同期は285百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,511百万円減少し、6,279百万円となりました。主な内訳は資産側においては、流動資産が914百万円、固定資産が597百万円減少しました。流動資産は現金預金の減少578百万円と仕掛品の減少224百万円が主なものです。固定資産は結城工場の減損損失462百万円が主なものです。負債側においては、流動負債は439百万円減少しました。仕入債務の減少515百万円が主なものです。純資産は四半期純損失の計上等により前連結会計年度末に比べ996百万円減少し、2,245百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で使用した資金は496百万円となりました。主な減少の内訳は、税金等調整前四半期純損失882百万円と仕入債務の減少515百万円等であり、主な増加の内訳は結城工場の減損損失額462百万円と減価償却費159百万円、棚卸資産の減少227百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は46百万円となりました。有形固定資産の取得による支出47百万円が主なものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は35百万円となりました。主な減少の内訳は、長期借入金の返済176百万円によるものです。主な増加の内訳は短期借入金が増加した150百万円増加したものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ578百万円減少し、277百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループに関連する金型市場は、国内主要自動車メーカー各社の新車開発需要は回復に向かいつつあります。一方、産業機器市場では、高機能フィルム・シート押出機関連設備の需要は、堅調に推移するものと思われまます。

このような状況の中で、当社グループは下半期の連結損益の黒字化を最優先の課題とし、金型部門におきましては、結城工場の操業停止により大幅な固定費削減効果が期待されることと、経営資源を本社工場に集中させることにより経営効率を高め、インパネ金型のバリュープロポジション（価値提案）の構築とSTP S活動（セキサイトッププロダクションシステム）の加速化によるコストダウン、次世代新製品の開発による新事業の拡大を推進してまいります。またバルブゲートシステムについては高付加価値バルブの開発などの商品ラインアップの拡大に努めてまいります。さらにグローバルパートナーとの新たな付加価値創造を進めるとともに、グローバルマーケットからの受注獲得を目指してまいります。

産業機器部門におきましては、デザインレビューの徹底による変動原価の削減、設計業務の標準化による工数削減など収益管理体制の強化を図るとともに、重要顧客へのソリューション営業への転換を引き続き図ってまいります。また、COCフィルム、電池用シートの成形技術の強化とカーボンナノチューブやバイオプラスチック・コンパウンドの開発など成長市場への技術開発を推進してまいります。

当期の通期連結業績予想については、売上高6,100百万円、営業損失170百万円、経常損失180百万円、当期純損失980百万円を見込んでいます。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,841	277,286
受取手形及び売掛金	2,323,682	2,303,586
仕掛品	649,220	425,088
原材料及び貯蔵品	34,306	31,380
繰延税金資産	94,449	24,466
その他	64,449	44,784
貸倒引当金	△5,500	△4,500
流動資産合計	4,016,449	3,102,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	864,563	652,196
機械装置及び運搬具(純額)	1,023,734	762,978
土地	1,631,098	1,529,436
建設仮勘定	42,148	62,897
その他(純額)	27,464	18,560
有形固定資産合計	3,589,009	3,026,069
無形固定資産		
ソフトウェア	57,890	44,622
その他	5,923	4,740
無形固定資産合計	63,814	49,362
投資その他の資産		
繰延税金資産	13,629	21
その他	130,004	123,538
貸倒引当金	△21,214	△21,214
投資その他の資産合計	122,419	102,344
固定資産合計	3,775,243	3,177,777
資産合計	7,791,693	6,279,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,127,571	1,612,561
短期借入金	1,488,360	1,551,700
未払法人税等	11,292	7,512
賞与引当金	81,500	56,500
災害損失引当金	14,000	—
その他	336,957	391,570
流動負債合計	4,059,681	3,619,844
固定負債		
長期借入金	300,000	210,000
長期末払金	45,335	44,210
リース債務	137,490	128,110
繰延税金負債	—	25,657
退職給付引当金	6,542	6,266
固定負債合計	489,368	414,244
負債合計	4,549,049	4,034,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	811,985	△183,987
自己株式	△17,223	△17,267
株主資本合計	3,238,913	2,242,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,730	2,884
その他の包括利益累計額合計	3,730	2,884
純資産合計	3,242,643	2,245,780
負債純資産合計	7,791,693	6,279,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,209,612	3,284,878
売上原価	2,149,814	3,194,148
売上総利益	59,798	90,729
販売費及び一般管理費	315,482	312,426
営業損失(△)	△255,683	△221,696
営業外収益		
受取利息	760	61
受取配当金	295	712
仕入割引	955	1,440
助成金収入	30,741	4,112
その他	1,870	2,687
営業外収益合計	34,623	9,015
営業外費用		
支払利息	12,130	9,326
売上割引	126	136
その他	163	486
営業外費用合計	12,420	9,948
経常損失(△)	△233,479	△222,630
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,696	—
災害損失引当金戻入額	—	10,768
特別利益合計	1,696	10,768
特別損失		
減損損失	—	462,508
退職特別加算金	5,535	183,906
退職給付制度一部終了損	—	24,489
固定資産除売却損	46,397	—
投資有価証券評価損	12,394	—
特別損失合計	64,327	670,904
税金等調整前四半期純損失(△)	△296,110	△882,766
法人税、住民税及び事業税	3,501	3,376
法人税等調整額	△14,588	109,830
法人税等合計	△11,086	113,206
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△285,023	△995,972
四半期純損失(△)	△285,023	△995,972

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△285,023	△995,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,117	△845
その他の包括利益	△3,117	△845
四半期包括利益	△288,141	△996,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△288,141	△996,818

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△296,110	△882,766
減価償却費	183,011	159,513
減損損失	—	462,508
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,696	△1,000
受取利息及び受取配当金	△1,056	△774
支払利息	12,130	9,326
助成金収入	△30,741	△4,112
投資有価証券評価損益(△は益)	12,394	—
固定資産除売却損益(△は益)	46,397	2
売上債権の増減額(△は増加)	749,184	20,095
前受金の増減額(△は減少)	22,051	△113,043
たな卸資産の増減額(△は増加)	80,750	227,058
仕入債務の増減額(△は減少)	△413,045	△515,010
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,776	30,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,500	△25,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	409	△276
その他	△58,133	145,663
小計	293,821	△487,015
利息及び配当金の受取額	844	915
利息の支払額	△12,064	△9,159
助成金の受取額	49,065	6,154
法人税等の支払額	△3,980	△7,081
法人税等の還付額	5,292	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	332,979	△496,187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△155,570	△47,048
有形固定資産の売却による収入	206,682	—
その他	△25,392	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,719	△46,958
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△176,660	△176,660
リース債務の返済による支出	△8,124	△8,600
自己株式の純増減額(△は増加)	△46	△44
配当金の支払額	△240	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,071	△35,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	173,627	△578,554
現金及び現金同等物の期首残高	994,870	855,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,168,498	277,286

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,787,351	422,260	2,209,612	—	2,209,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,787,351	422,260	2,209,612	—	2,209,612
セグメント損失(△)	△216,599	△39,083	△255,683	—	△255,683

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,374,402	910,476	3,284,878	—	3,284,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,374,402	910,476	3,284,878	—	3,284,878
セグメント損失(△)	△154,883	△66,812	△221,696	—	△221,696

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失は一致しています。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、995,972千円の四半期純損失を計上したため、株主資本が前連結会計年度末に比べて同額減少し、2,242,896千円となりました。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	2,044,365	8.5	1,138,106	2.2
産業機器	955,055	△25.7	883,721	△43.1
合計	2,999,420	△5.4	2,021,827	△24.2

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。